

山崎克明教授のご退任に寄せて

北九州市立大学産業社会研究所長であられた山崎克明教授は、2006（平成18）年3月をもって定年を迎えられ、退職されました。

山崎先生は、1966（昭和41）年に関西学院大学大学院法学研究科修士課程を修了し、その後関西学院大学助手、八代学院大学講師を経て、1973（昭和48）年に北九州大学法学部に講師として着任されました。本学では行政学、都市行政研究、地域づくり研究の専門分野でたゆまぬ研鑽を重ね、優れた研究成果をものにされて法学博士号を取得されると同時に、専門の講義や演習を通じて多くの有為な人材を世に送り出しました。

山崎先生は、1997（平成9）年に産業社会研究所からの移籍要請に応じて、法学部教授から産業社会研究所教授に転籍され、直ちに研究所長に就任なさいました。以後ご退職までの9年間、所長としての重責を見事に果され、研究所の充実と発展に実に大きな貢献をしてくださいました。研究所としては、山崎先生をお迎えすることによってそれまで手薄であった社会・福祉部門が強化され、地域ニーズを的確に政策課題として掘り起こすような意欲的な研究プロジェクトが次々と立ち上げられることになりました。さらに、先生のリーダーシップのもとで地域ネットワークの拡充と研究活動の活性化が図られ、課題解決に向けた政策提言が行われるようになりました。とりわけ、山崎先生がホームレス問題などの地域課題を解決するために、企業、行政、NPO、市民等をメンバーとする研究会を自らの手で組織し、地域に根ざした調査研究に精力的に取り組まれたことは、研究所の研究活動の有り様に新たな地平を切り開いたものとして、まさに特筆に値するものといえることができます。

私どもが先生との学問的、人間的なおつき合いの中で感じた人間としての奥行きの高さと社会活動への溢れんばかりの豊かなエネルギーは、同じ調査研究の道を目指す私どもに大きな刺激を与えてくれるものでした。また、学者としての主張の断乎さ、何事もおろそかにされない真摯さ、お人柄の温厚さと謙虚さには、私どもは多くのことを教えていただきました。

その山崎先生が、定年のこととて致し方ないとはいえ、退職されますことは心ざびしい限りですが、今後とも研究所の有り様について大所高所からいろいろご教示いただけることを願っております。先生の研究所に対するこれまでの多大なる貢献に感謝の念を表し、また、先生のご健勝を祈りつつ、この研究所紀要を退任記念号としてお贈りしたいと思います。

平成18年12月

都市政策研究所長

晴山 英夫